

## ＜第12回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和8年3月27日（金） 19:00～20:45  
場 所 若林交流館 多目的ホール  
出席者 委 員 13名  
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、倉地主査  
オブザーバー 太田市議、村中館長

---

### 1 会長あいさつ〈省略〉

### 2 報告事項

- (1) 第11回若林地域会議会議録について  
高岡支所より報告
  - ・ 前回は提言を実施した。活発な意見交換ができて大変良かった。
- (2) 自主防災サポーター養成講座の実施報告について  
高岡支所より報告
  - ・ 令和6年度から継続して2年目の事業。4地域から合計24名の方に参加してもらった。受講者のうち20名の方は自治区に修了したことを伝えてよいとのことだったので、4月の地区区長会でお伝えする予定。来年度以降の補助員も10名の方がやってもよいとのことだったので、地域主体で実施できるように仕組みを整えたい。
- (3) 令和8年2月27日に実施した提言への回答について  
高岡支所より報告
  - ・ 提言書の3枚目になっていた企画書に記載のとおり、事業を進めていく予定。詳細については、令和8年度の地域会議で決定していく。

### 3 協議事項

- (1) 令和7年度の地域課題解決事業実績と令和8年度への展開について  
高岡支所より令和7年度事業の実績報告と令和8年度の計画及び展開について説明
  - 〈委員〉 前回、市長との意見交換の時、避難所の食料備蓄は必要ないと言われた。その際、高岡支所としても防災対策課としても発言はなかったが、どう考えているのか。
  - 〈事務局〉 自治区で備蓄をすることは必要だが、区民全員分を用意するには限界があるため、企業と手を結ぶことで必要なものが確保できるという発言であった。
  - 〈委員〉 企業との連携はそんな簡単ではない。
  - 〈事務局〉 企業との連携も地域で全部やってという話ではない。考え方の1案として、短期的には最低限の備蓄、長期的には協定を結んだ企業からの支援を考えることも必要ではないかという話だったと理解している。今している備蓄を否定する発言はなかった。

〈委員〉行政が企業と協定を結ぶのと、自治区が企業と協定を結ぶのは難易度が違うかと思う。ただ、防災対策課から指導をしてもらえるとこの話だったため、また確認しておく。

〈委員〉スーパーでアルバイトをしているが、協定を結んだスーパーがすぐに食料を出してくれるという想像をしているかと思うが、難しい。店内は乱れ、従業員は出勤せず、鍵がないため中にも入れない。また、入ったとしても暗くてなにも見えない。スーパーとして対応できることは、優先的に消防の活動に必要なものを提供するか、道路が回復したときに自治区へ物資を提供し、そこで販売してもらおうということなら可能かと思う。まずは協定を結んでどんなことができるのか議論することは有意義だと思う。

〈事務局〉地域と企業の協定については、防災対策課もそうだが、特に支所がメインで入っていくべきかと思う。前林地域では物流倉庫が多くあるため、その場所を避難所として活用しようということで進めている。ただ、地域と企業と一緒に訓練をするまでには及んでいないので、そこは文書も含めて再整理する必要がある。若林地域で協定を結んでいくという話であれば、どんなことができるかを含めて1, 2年かけて議論していけばよい。防災食の備蓄を進めていることに関しては、支所として当然認識している。そのまま進めてもらえばよいと思っており、その中でローリングの時期には今までのやり方とは別のやり方がないか模索してほしい。その時は支所も一緒に議論していきたい。

〈委員〉備蓄するのは補助金が少ないということを実は市長に質問したかった。

〈事務局〉若林地域だけでなく、豊田市全体としてそういった意見があることは防災対策課にも伝えている。ただ、すぐに上げるという対応はできないため、つなぎとして地域課題解決事業を使って、備蓄につながる支援はしているし、今後もしていく予定。

## (2) 令和8年度の地域課題解決事業のスケジュールについて

高岡支所より令和8年度の地域課題解決事業のスケジュールについて説明

〈委員〉青色防犯パトロールについて、若林の場合は厄年のあとに入る。今年度は10数人いたが、加入したのは4人。市長との意見交換会でもあったが、組織が継続していかないのが課題になっている。青色パトロールについても高岡支所としてもっとPRして加入者が増えるよう取り組んでほしい。また、アナウンスを変更してくれるという話であったが、いつ変えてくれるのか。

〈事務局〉地域会議で過去に報告させてもらったが、市役所の財務上難しいという話から、備品の補助金を使ってやっていくという結論になった。

〈委員〉完全にボランティアでやっており、なにか利益を生んでいるわけでもないのだから、来年度の検討課題として取り組んでほしい。

〈事務局〉4地域の実態調査を実施した。力不足で申し訳ないが、継続して検討していく。ただ、いつできるかという質問には返答できない。

## 4 退任委員あいさつ

退任委員7名より退任あいさつ

## 5 支所長あいさつ〈省略〉

## 6 その他

- (1) 交通死亡事故警報  
高岡支所より説明
  
- (2) 令和8年度地域会議のスケジュールについて  
高岡支所より説明
  
- (3) 後期分の地域会議費用弁償の支払いについて  
高岡支所より説明

オブザーバーより挨拶

〈村中館長〉

交流館も地域課題解決事業で協力できる部分があれば協力したいと思っている。長い間お疲れ様でした。

〈太田市議〉

地域会議で解決できる課題はごくわずか。この地域会議を通して地域をより知ってもらえれば良いと思う。また、地域会議委員でなくともできることはあると思うので、御協力いただきたい。支所長も担当者も変わるということでまた挨拶をしたい。若林は駅があり、南部地区の中心のため、豊田市の中でも重要な地域。高岡支所もしっかり力を入れてほしい。鹿児島に出張に行っていたときに、吉原町出身の美濃部正さんという方について教えてもらった。そんな方が近くの地域にいるのに知っている人が少ないのはあってはダメなこと。支所としても若園地域会議で是非取り組んでほしい。

### ★次回開催

第1回定例会：令和8年4月24日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール